

令和6年度第2回小学校教科担任制推進協議会 実践交流資料

1 学校名・教科型

海田町立海田小学校 4教科型

2 学校の概要

学級数及び児童数(R6.12.1現在)

	通常学級							特支 学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
児童数	54	67	64	55	62	63	365	19	384
学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道德	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
5年1組 (担任：A)	A	A	A	推進	推進	専科	A	B	A	A	A	A	推進
5年2組 (担任：B)	B	B	A	B	推進	専科	A	B	B	B	B	B	推進

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道德	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年1組 (担任：C)	C	C	C	C	推進	専科	C	D	C	C	C	C	専科
6年2組 (担任：D)	D	D	D	D	推進	専科	C	D	D	D	D	D	専科

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

①②③④ 教科担任及び専科による授業，担任同士の授業交換

A photograph showing a group of students sitting at long wooden tables in a library or study hall. They are focused on their work, with some looking at books and others writing. The room is filled with bookshelves in the background.

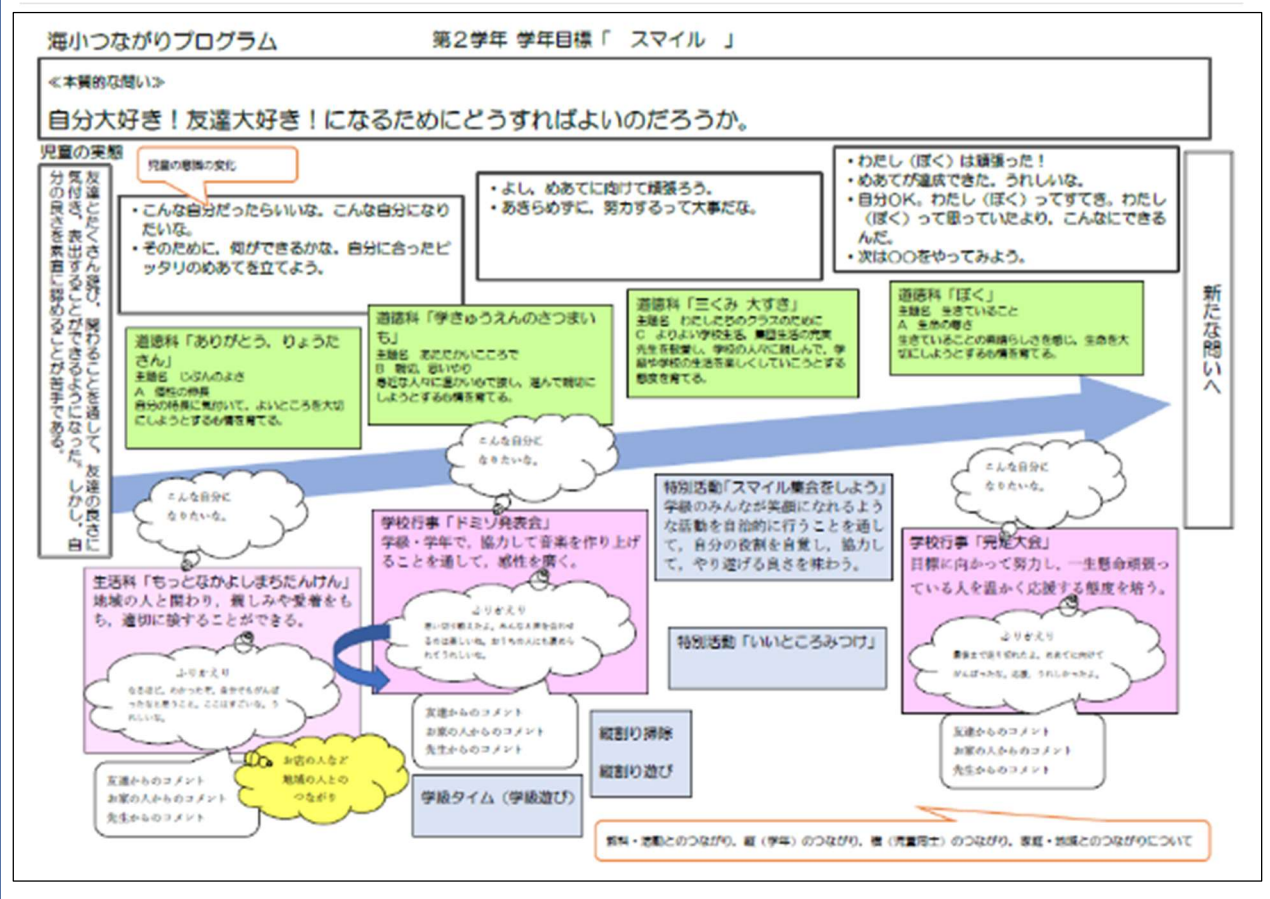
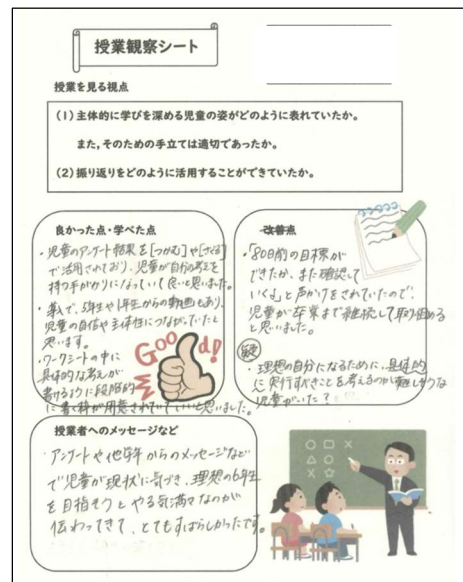
(1) 本質的な問いを児童の実態に合わせて決定する。

(2) 道徳科を要としながら，他教科，領域等，学校行事等，

学校生活でどのように問いに迫っていくのかを検討し、実施する。

(3) 児童も、教員も振り返りを行う。

(4) ①～③を繰り返し行い、問いに迫っていく。





＜成果＞

- ① 各担当が教材を深く理解することで、授業の質が向上した。その結果、児童の学力向上につながった。令和6年度全国学力学習状況調査の正答率は、国語科が82%（県正答率69%）、算数科が71%（県正答率64%）だった。
- ① 一人一授業に向けて指導案を作成するなど自走することのできる教員が増加した。また、授業を観察し合ったり、教科担任が中心となり校内研修を行ったりすることで、教員全体の授業力が向上した。
- ② 複数で児童を見ることで、多面的な児童理解につながった。
さまざまな場面における児童の姿を見取れるため、児童の良さやがんばりに気付き、共有することができた。その結果、児童の自己肯定感も高まってきた。全国学力・学習状況調査の質問紙では、「自分にはよいところがあると思いますか。」という問いに肯定的回答をした児童が86.4%だった。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」という問いにはすべての児童が肯定的回答をしていた。「自分にはよいところがあると思いますか。」という問いについては、2学期にもアンケートを行ったところ、肯定的回答の割合が90.5%だった。
さらに、気になる児童の様子も複数の教員で観察することができ、生徒指導もしやすくなった。教員がより多くの児童と関わることで児童理解が進み、保護者連携もスムーズにできるようになった。
- ③ 複数の教員と関わることで、児童は中学校での生活をイメージすることができた。
また、教科ごとに担任が締め切り付きの課題を出すことで、自分で学習の計画を立て、期日までにやり遂げる習慣を身に付けることができた。
- ④ 授業準備にかけることのできる時間が増加したことで、授業の質が向上した。
- ⑤ 「海小つながりプログラム」を作成することで、各学年の目標や目指す児童像を教員間で共有することができた。

＜課題＞

- ① 個別最適な学びに関する研修を行い、個に応じた学びの幅を広げ、質を上げていく必要がある。
- ② 担任と教科担任の児童に関する情報共有を、共有ファイル等を活用して、効率的に行う必要がある。



＜対策＞

- ① 「個別最適な学び」をどのようにとらえるか、町内で行っているコグトレ等の成果をどのように生かしていくか、校内での熟議を通して、授業改善につなげていく。
- ② 授業の進行状況や、課題の内容、児童の理解度などについて担任と教科担任で共有しておく。
また、互いにそれぞれの学習内容に関心をもっておく必要がある。各授業での児童の様子で気になることがあれば、随時報告し、共有し合うようにする。